

 愛知県立芸術大学

令和
9
年度入学用

音楽学部 学校推薦型選抜 総合型選抜 学生募集要項

音楽学部

学校推薦型選抜：作曲専攻(音楽学)/器楽専攻(弦楽器・管打楽器)

総合型選抜：作曲専攻(作曲)/声楽専攻

出願期間：令和8年10月28日～令和8年11月4日 締切日消印有効

試験日程：令和8年11月28日、29日

合格発表：書類選考/令和8年11月19日 午前11時

本選考/令和8年12月7日 午前11時

入学手続：令和8年12月14日～令和8年12月18日 締切日消印有効

目 次

愛知県立芸術大学音楽学部 3 つのポリシー	2
1. 募集人員	5
2. 出願資格	5
3. 出願期間・出願方法等	6
(1) 事前準備	6
(2) 出願方法	7
(3) 出願期間	7
(4) 必要書類送付先	7
(5) 必要書類	7
・各専攻（コース）別出願書類等一覧	9
・各専攻（コース）別音楽活動記録書記載要領	11
(6) 入学検定料	12
4. 出願・受験上の諸注意	12
5. 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について	13
6. 問い合わせ先	13
7. 選抜方法	
(1) 各専攻（コース）別選抜方法	14
(2) 評価基準	15
(3) 点数配分	16
8. 試験日程及び合格発表	17
9. 学校推薦型選抜・総合型選抜に不合格になった者の一般選抜への再出願について	17
10. 入学手続	18
11. 授業料	18
12. 入学検定料、入学料、授業料の免除・還付制度について	18
13. 入試結果の閲覧	19
14. 個人情報の取扱いについて	19
15. 安全保障輸出管理について	20
■実技試験及び音楽の基礎的能力試験 試験内容及び課題曲	21
■令和 8 年度学校推薦型選抜・総合型選抜 試験実施状況	29
■令和 10 年度入試変更点の予告	
1. 作曲専攻音楽学コース	30
2. 声楽専攻	32
3. 器楽専攻ピアノコース	33
4. 器楽専攻弦楽器コース	35
5. 器楽専攻管打楽器コース	38
■インターネット出願の流れ	40

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

音楽学部では音楽に対する感性が豊かで表現意欲が旺盛な人や、将来国内はもとより、国際的視野にたった幅広い芸術・研究活動を目指すような、明確な目的意識と強い気概をもった人を求めています。

◎求める人物像

- ・音楽に関心を持ち、本学の音楽教育に必要な実技の基礎能力を有する人
- ・音楽に対する豊かな感性をもち、将来幅広い視野に立った芸術・研究活動を目指すような意欲をもった人
- ・広い視野と多様な価値観を持ち、自ら積極的に学ぶことのできる人

◎入学者選抜試験の基本方針

- ・各専攻の特性に応じた選抜方法により実技試験、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）を、また一般選抜においては大学入学共通テストの結果を総合して合否を判定します。

◆作曲専攻（作曲）

求める人物像

- ・創作研究に対する、謙虚且つ積極的な姿勢を持っている人
- ・感性、知性、表現力、独創性、柔軟性、好奇心、国際性等を持っている人
- ・音楽の創作において必要な基礎的能力を身につけている人
- ・入学前に得た知識や技術、見地などを、入学後に自ら発展・展開させる強い意志と意欲を持っている人

入学前に身につけてほしいこと

- ・基本的かつ十分な作曲能力。特に楽典に基づいた正しい楽譜の読み書きができること、自己の表現したいものを適切な技術で書き表すことができること、和声、対位法等の理論をある程度習得していること
- ・音楽の基礎的能力（楽曲分析、ソルフェージュ、ピアノ実技等）を習得していること
- ・西洋音楽史の素養、特にバロックから近代までの基本的な楽曲を網羅的に知っていること
- ・基礎的な学力、語学力（特に英語）を習得していること

入学者選抜試験の基本方針

【総合型選抜】

- ・提出物による審査（作品、音楽活動記録、調査書他）の後、作曲実技試験、口述試験の結果を総合して合否を判定します。

◆作曲専攻（音楽学）

求める人物像

- ・音楽に対する知的好奇心を持っている人
- ・音楽を研究する上で必要な基礎的能力を備えている人
- ・芸術に対する豊かな感受性を持っている人

入学前に身につけてほしいこと

- ・基礎的な文章の読解力
- ・基礎的な文章の表現力
- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュや楽典等）
- ・基礎的な学力（外国語や一般教科）

入学者選抜試験の基本方針

【学校推薦型選抜】

- ・音楽学の基礎的能力（英語力を試す出題を含む）、音楽の基礎的能力試験、口述試験の結果及び提出書類（音楽活動記録、調査書他）を総合して可否を判定します。

◆声楽専攻

求める人物像

- ・豊かな感受性、想像力を備えている人
- ・演奏家としての資質を備えている人
- ・積極的に学び、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人

入学前に身につけてほしいこと

- 専門実技能力…学ぶ上で大切にして欲しいことは、第一に自主的に学ぶ姿勢と、積極的に表現しようとする姿勢です。そして、各人の資質に応じた無理のない発声を身につけ、音楽と言葉に対する感性を磨くよう努力してください。
- 音楽の基礎的能力…読譜力とピアノの演奏能力、また音楽についての広範な知識を積極的に吸収するよう心がけてください。
- 基礎的な学力、語学力…歌詞を歌う声楽においては、日本語を含む語学力は必要不可欠なものです。加えて作品の背景を知る為にも、歴史や文学に関する基本的な知識を身につけてください。

入学者選抜試験の基本方針

【総合型選抜】

- ・書類審査（音楽活動記録、調査書他）の後、専攻実技試験、面接試験、音楽の基礎的能力試験（ピアノ）を行い、それらの結果を総合して可否を判定します。
- ・専門実技試験においては、受験者の演奏を複数の審査員が様々な視点（演奏家としての資質、技術、表現力）から採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。
- ・面接試験においては、音楽に対する情熱や主体的に学ぶ姿勢を評価します。

◆器楽専攻（弦楽器）

求める人物像

- ・演奏家としての資質と技術を備えている人
- ・将来音楽界、芸術教育界を担うべく意欲旺盛な人
- ・より高い技術やより深い音楽性を食欲に求める人
- ・アンサンブルなど共同での演奏に関心のある人
- ・自然を愛し、豊かな感受性、想像力を備えている人

入学前に身につけてほしいこと

- 専門実技能力
 - ・音に対する感性を大切にする姿勢
 - ・感じたことを表現しようとする姿勢
 - ・音階・練習曲等、基礎技術
- 音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- 基礎的な学力、語学力

入学者選抜試験の基本方針

【学校推薦型選抜】

- ・専攻実技試験、音楽の基礎的能力試験、面接試験の結果及び提出書類（音楽活動記録、調査書他）を総合して可否を判定します。

◆器楽専攻（管打楽器）

求める人物像

- ・豊かな感受性、想像力、表現意欲を備えている人
- ・人との関わりや思いやりを大切にし、協調性、適応能力に優れた人
- ・アンサンブルなど共同での演奏に関心のある人
- ・物事への積極性があり、愛知県の文化・自然・芸術に関心を持ち、国際的な視野を持っている人

入学前に身につけてほしいこと

- ・主要オーケストラ作品、室内楽など様々な作品に興味を持ち、知識を広げておく
- ・積極的に演奏表現をしようとする姿勢
- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- ・基礎的な学力、語学力

入学者選抜試験の基本方針

【学校推薦型選抜】

- ・書類審査（音楽活動記録、調査書他）及び録画による演奏審査の後、専攻実技試験、音楽の基礎的能力試験、面接試験の結果を総合して可否を判定します。

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

音楽学部では、ディプロマポリシーに掲げる目標を達成できるよう、学生の個性を伸ばすため、専門実技授業では4年間徹底した個人指導による教育を行います。実技系の授業等とあわせ、音楽理論、外国語、一般教養等、選択可能な科目を幅広く学ぶこともできます。

◎カリキュラムの編成方針

- ・専門の授業・レッスンでは、徹底した個人指導による教育を行います。
- ・専攻ごとのポリシーに則り、基礎から応用まで専門的に体系化された4年間のプログラムを提供します。
- ・専攻科目の他に、幅広い理論系の授業、外国語、一般教養等、選択可能な科目を幅広く履修することができます。

◎学修成果の評価について

- ・各科目の学修成果は、それぞれシラバスに示された評価基準と方法で、公平に評価します。

3. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

音楽学部では、各専攻で定める専門分野に関する知識・技能・社会的対応力、幅広い教養を身につけた、国際的視野に立った、創造的に音楽に関わる優れた人材の育成を目標としています。

◎学修成果目標

- ・自立した音楽家・音楽関係者に必要な専門分野に関する知識・技能・社会的対応力、幅広い教養を身につけます。
- ・主体性をもって社会に活躍できる協働力を身につけます。

◎学位認定の方針、評価方法

- ・所定の期間在学し、最終年次における「卒業作品（作曲）」、「卒業論文（音楽学）」、「卒業演奏（実技系）」を含む所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士（芸術）の学位を授与します。

令和 9 年度愛知県立芸術大学音楽学部
学校推薦型選抜・総合型選抜学生募集要項

1 募 集 人 員

I. 学校推薦型選抜

学部	学科	専攻（コース）		入学定員	募集人員	備 考
音楽学部	音楽科	作曲	音楽学	2 名	若干名	入学定員 2 名の中に含みます。
		器楽	弦楽器	15 名	3 名	入学定員 15 名の中に含みます。 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ
			管打楽器	20 名	5 名	入学定員 20 名の中に含みます。 フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、バストロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、パーカッション、マリンバ

II. 総合型選抜

学部	学科	専攻（コース）		入学定員	募集人員	備 考
音楽学部	音楽科	作曲	作曲	8 名	若干名	入学定員 8 名の中に含みます。
		声楽		30 名	4 名	入学定員 30 名の中に含みます。

2 出 願 資 格

I. 学校推薦型選抜（作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース、管打楽器コース）

以下の(1)、(2)、(3)、(4)の全てに該当する者。

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校又は中等教育学校を令和 9 年 3 月卒業見込みの者
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ③ 上記①②以外の学校を令和 9 年 3 月卒業見込みの者で、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもので、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

※出願資格③により出願しようとする者は、令和 8 年 8 月 18 日（火）までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。

- (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- (3) 出身学校長が責任をもって推薦できる者
各学校において推薦できる人数は、作曲専攻(音楽学)は、1 名までとします。器楽専攻(弦楽器)においては、人数の制限はありません。器楽専攻(管打楽器)においては、5 名まで推薦できます。
- (4) 本学他学部及び他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者

Ⅱ. 総合型選抜（作曲専攻作曲コース、声楽専攻）

作曲専攻作曲コース：令和 9 年 3 月 31 日現在において 35 歳以下の者で、以下の（1）、（2）の両方に該当するもの。

声楽専攻：以下の（1）、（2）の両方に該当するもの。

（1）次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 9 年 3 月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和 9 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

※出願資格⑧により出願しようとする者は、令和 8 年 8 月 18 日（火）までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。

（2）本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者

3 出 願 期 間・出 願 方 法 等

出願方法は「インターネット出願」です。出願手続・方法は以下の（1）から（6）及び 40 ページ以降の「インターネット出願の流れ」を参照してください。

（1） 事前準備

パソコン等の 利用環境	PC でのインターネット出願では次の Web ブラウザを使用してください。 ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 ※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がありますので、複数タブでの同時申込操作は控えてください。 スマートフォン、タブレットでのインターネット出願では次の OS を使用してください。 ・iOS 12 以上 ・Android OS 8 以上 ・iPadOS 13 以上 ※各 OS の標準ブラウザが推奨環境となります。
PDF 表示・印刷 ソフトウェア	志願票・受験票(PDF)の表示・印刷にはアドビシステムズ社が提供している Adobe Acrobat Reader DC（無償）が必要です。
メールアドレス	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。 なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp

証明写真（顔写真） データ	証明写真（顔写真）は試験当日の本人確認用として使用します。出願前3ヶ月以内に撮影した正面、無帽、上半身、背景なし、カラーの顔写真データを用意してください。不鮮明、背景が暗い、無背景でない、加工を施している等の写真は使用できません。なお、受験者本人と証明写真（顔写真）が照合できない場合は、監督者が個別に本人確認を行うことがあります。
封筒	必要書類を郵送するため、提出書類が入る大きさの封筒を用意してください。
用紙	志願票や受験票を印刷するため、A4サイズ白色の用紙を用意してください。

(2) 出願方法

志願者は、出願期間内に本学ウェブサイト等から「愛知県立芸術大学インターネット出願サイト」にアクセスし、**必要事項を登録後、「(5) 必要書類」を簡易書留速達郵便により郵送**してください。

愛知県立芸術大学インターネット出願サイト <https://e-apply.jp/ds/aichi-fam-u/>
※普通郵便又は直接持参は不可。

※出願サイトへの登録のみでは出願は完了していません。注意してください。

(3) 出願期間

インターネット出願登録期間	令和8年10月28日（水）9：00 から 令和8年11月4日（水）23：59 まで
入学検定料支払期間	令和8年10月28日（水）9：00 から 令和8年11月4日（水）23：59 まで
出願期間	令和8年10月28日（水）から 令和8年11月4日（水）まで 締切日消印有効 ※ただし、日本国外から出願する場合は締切日午後5時 必着とします

※インターネット出願登録期間及び入学検定料支払期間の締切日は「令和8年11月4日（水）23：59」となっていますが、この締切日までに**出願登録及び入学検定料の支払いを終えて、必要書類を郵便局窓口より郵送する**必要があります。出願手続きは余裕をもって行うようにしてください。

(4) 必要書類送付先

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114
愛知県立芸術大学 入試課

※出願書類を高等学校等が発送する場合においても、出願期間や出願書類は志願者本人が責任を持って確認し、遅延や不備がないよう注意してください。

(5) 必要書類

I インターネット出願サイトからダウンロードして大学に提出するもの

書類	作成方法
① 志願票	出願登録完了後に受験番号欄は空欄のまま印刷（A4判、カラー）してください。 ※大学入学共通テスト成績請求チケット貼付欄に成績請求チケットを貼付けする必要はありません。 ※印刷後、登録内容の誤りが判明した場合は本学入試課まで連絡してください。入学検定料の支払完了後、登録内容の修正はできません。
② 宛名シート	出願登録完了後に印刷（A4判、カラー）してください。 印刷後、各自が準備する封筒に貼付してください。 ※志望する専攻・コース（声楽・弦楽器・管打楽器の志願者は、志望する声種・楽器も）を○で囲んでください。

Ⅱ 上記Ⅰに加え、各自が準備して大学に提出するもの

	書類	作成方法
③	調査書	1 出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 2 廃校及び被災等により調査書の作成ができないときは、これに代わるべき機関による適宜の証明で調査書に代えることができます。 3 【総合型選抜のみ】指導要録の保存期間経過により調査書が作成できないときは、次の①②を提出してください。 ①卒業証明書 ②成績証明書または単位修得証明書等（発行できない場合は、出身学校長からの「発行できない旨の文書」を提出してください。） 4 【総合型選抜のみ】高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び合格見込みの者については、その試験の合格成績証明書または合格見込成績証明書をもって調査書に代えることができます。ただし、高等学校で修得した科目がある場合は、高等学校の調査書または成績証明書（単位修得証明書）も提出してください。 5 【総合型選抜のみ】出願資格（1）③により出願する者（私費外国人留学生等）については、次の①②を提出してください。①②とも日本語訳を添付してください。 ①小学校入学から最終出身学校までの学歴を記載したもの ②最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書 （注）調査書及び各種証明書は出願前3か月以内に取得したものを提出してください。また、調査書及び各種証明書に記載された氏名と現在の氏名とが異なる場合は、氏名変更の事実が確認できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。
④	各専攻（コース）別出願書類	本紙 9、10 ページ 【各専攻（コース）別出願書類等一覧】 をよく読んで提出してください。
⑤	音楽活動記録書	現在までの音楽活動について、本紙 11 ページ【各専攻（コース）別音楽活動記録書記載要領】に従って詳細に書いてください。 本学ウェブサイトから「音楽活動記録書」をダウンロードし記載のうえ、A 4 判で両面印刷してください。記載方法は自筆、パソコン入力のどちらでも構いませんが、氏名欄及び最終ページに志願者の自筆にて署名をしてください。 ページ数が 2 ページを超える場合は、音楽活動記録書の 2 枚目をコピーして使用してください。
⑥	<u>【作曲コース、音楽学コース、弦楽器コース、管打楽器コース】</u> 志願理由書	本学を志望した理由を具体的に書いてください。 本学ウェブサイトから「志願理由書」をダウンロードし記載のうえ、A 4 判で印刷してください。記載方法は自筆、パソコン入力のどちらでも構いませんが、氏名欄に志願者の自筆にて署名をしてください。
⑦	<u>【作曲コース、声楽専攻、管打楽器コース】</u> 書類選考可否結果通知用封筒	書類選考可否結果通知の送付用封筒として、レターパックプラス（600 円）を各自購入し、「お届け先」と「郵便番号」を記入の上、折りたたんで同封してください。 （長形 3 号の封筒を各自購入し、宛先欄に志願者の氏名、住所、郵便番号を記入の上、760 円分の切手を貼付し「速達郵便」「簡易書留」と朱書してあるものでも受領します。）お届け先は、確実に本人に届く住所を記入してください。
⑧	<u>【音楽学コース、弦楽器コース、管打楽器コース】</u> 推薦書	1 出身学校長が作成し、厳封したものとします。（本要項の様式に準じたものをパソコン等を利用して作成し、厳封したものでもかまいません。） 2 各高校において推薦できる人数は、作曲専攻（音楽学）は、1 名までとします。器楽専攻（弦楽器）においては、人数の制限はありません。器楽専攻（管打楽器）においては、5 名まで推薦できます。

書類		作成方法
⑨	<u>〔音楽学コース、弦楽器コース、管打楽器コース〕</u> 学校長あて合否結果通知用封筒	レターパックプラス（600 円）を各自購入し、「お届け先」に出身学校の住所、学校名、学校長名を記入し、「郵便番号」に出身学校の郵便番号を記入の上、折りたたんで同封してください。 （長形 3 号の封筒を各自購入し、宛先欄に出身学校の郵便番号、住所、学校名、学校長名を明記し、 <u>760 円分の切手を貼付</u> し「速達郵便」「簡易書留」と朱書してあるものでも受領します。）
⑩	送付用封筒	必要書類が入る大きさの市販の封筒を用意してください。封筒に、②で印刷した「宛名シート」を貼付し、出願期間内に必要書類（①～⑨）を全て入れ、「簡易書留速達郵便」で郵送してください。出願締切日消印有効です。

※各種様式は本学ウェブサイトからダウンロード可能です。
<https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/information/02.html>



■各専攻（コース）別出願書類等一覧

専攻 コース	出 願 書 類 等	
作曲	作 曲	A 提出作品 3 作品を提出してください。 各作品は、楽譜・音源・動画のいずれか、または複数の形式で提出することができます。 3 作品のうち、少なくとも 1 作品には、五線譜を用いた楽譜を含めてください。 楽譜は紙媒体でのコピー（A3 サイズ以下）とし、郵送で提出してください。楽譜には作品タイトル・制作年・志願者氏名を明記してください。必要に応じて補足説明等も添えてください。（作品は後日返却しますので、返却返信用封筒を同封してください。） 音源・動画は、動画共有サイト（YouTube）に限定公開でアップロードし、その URL をインターネット出願サイトに入力してください（詳細は下記参照）。 提出する作品はすべて本人が制作したものに限りします。 B 返却返信用封筒 1 作品の入る封筒に、「返却作品在中」と朱書きしてください。 2 返却方法は、郵便局のゆうパックとします。 ゆうパック送り状（料金着払い用）に以下を記入してください。 【お届け先】に、志願者の郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入。 【ご依頼主】に、同上と記入。【品名】に、楽譜と記入。【配達希望日】は、記入しない。 3 上記のゆうパック送り状を返却用封筒に貼付してください。
		＜音源または動画の提出方法＞ ・動画共有サイト YouTube に「限定公開」でアップロードし、その URL をインターネット出願サイトの出願内容登録画面（「3. 個人情報」ページ内）に入力してください。音源のみの場合も、静止画を添えて動画形式にして投稿してください。（YouTube へのアップロード方法は別途、本学ウェブサイトに掲載のマニュアルを参照してください。） ・動画のタイトルに作品タイトル・制作年・志願者氏名を明記してください。 例：『題名』（制作年）志願者氏名 ・動画の元データは試験が終了するまで各自で保存してください。 ・アップロードした動画は合格発表まで削除しないでください。合格発表後、志願者本人により削除してください。 ・審査時に動画を閲覧できない場合は、失格となる可能性があります。 ・動画の作成方法に関する問い合わせには一切応じません。
	音 楽 学	A 小論文（2000 字～4000 字程度） 本学で学び、研究したい事柄について、具体的に書いてください。 本学ウェブサイトから提出用表紙をダウンロードし、添付して提出してください。 B 音楽活動記録書の特記事項として外国語能力を示す公的証明書がある場合、そのコピーを提出してください。

専攻 コース		出 願 書 類 等
声 楽		A 自己アピール文（1000 字程度、様式自由） 様式は自由ですが、必ず氏名を記入し提出してください。 B 演奏曲目の提出 演奏曲目については本学ウェブサイトから「声楽曲目提出用紙」をダウンロードし必要事項を記入のうえ、提出してください。 C 伴奏用楽譜の提出 伴奏用楽譜は 1 曲ごとに、声楽曲目提出用紙のページ下部を参照のうえ指定のとおり作成し、「提出楽譜表紙添付票」を貼って提出してください。
		A 曲目の提出 P. 21「器楽専攻弦楽器コース 共通事項」を参照のうえ、別紙「弦楽器提出用紙」に作曲者名、曲名を欧文で記入し、提出してください。「弦楽器提出用紙」は本学ウェブサイトからダウンロードしてください。 B 楽器借用希望及びコントラバス椅子使用希望の提出（コントラバス） 別紙「弦楽器提出用紙」に楽器借用希望の有無及び実技試験時のコントラバス椅子使用の有無を回答のうえ、提出してください。
器 楽		A 本選考曲目の提出（サクソフォーン、トランペット、トロンボーン、バストロンボーン、パーカッション）P. 25～27「実技試験 課題曲」を参照のうえ、別紙「管打楽器提出用紙」に選択した曲を記入し、提出してください。「管打楽器提出用紙」は本学ウェブサイトからダウンロードしてください。 B 演奏を録画した動画を提出して下さい。課題曲は以下のとおりです。 繰り返しなしで演奏してください。 ■フルート：P. 24「実技試験 課題曲 フルード(1)」より 1 曲を選択 ■オーボエ：G. Ph. Telemann: Twelve Fantasias for Flute without Bass TWV40: 2-13 より No. 2 ■クラリネット：P. 24「実技試験 課題曲 クラリネット(1)」より 1 曲を選択 ■ファゴット：K. Stamitz: Konzert F-dur für Fagott und Orchester より 第 1 楽章（Sikorski版）カデンツァあり ■サクソフォーン：P. 25「実技試験 課題曲 サクソフォーン(2)」より連続する番号の 2 曲を選択 ■金管楽器：P. 25、26 各楽器「実技試験 課題曲」の(2)のみ ■パーカッション：P. 27「実技試験 課題曲 パーカッション」と同じ（全ての課題） ■マリンバ：P. 28「実技試験 課題曲 マリンバ」と同じ（全ての課題）
		管 打 楽 器 <動画の提出方法> ・動画共有サイトYouTubeに「限定公開」でアップロードし、そのURLをインターネット出願サイトの出願内容登録画面（「3. 個人情報」ページ内）に入力してください。（YouTubeへのアップロード方法は別途、本学ウェブサイトに掲載のマニュアルを参照してください。） ・動画のタイトルに楽器名・志願者氏名を明記してください。 ・必ず本人の演奏を録画してください。また、令和 8 年 8 月以降に収録した動画を提出してください。 ・動画の元データは試験が終了するまで各自で保存してください。 ・アップロードした動画は合格発表まで削除しないでください。合格発表後、志願者本人により削除してください。 <動画について> ・カメラアングルは固定し、演奏者の顔と手元が常に明確に映るようにしてください。 ・動画は本学受験のためにノーカットで収録したものとし、フィルター、文字入れなどの編集や加工は一切禁止します。また、提出後の差し替え・変更は認めません。 ・ビデオカメラに音声ボリュームを自動的に調節する機能がついている場合は、演奏の抑揚がなくなるため、使用しないようにしてください。また、音量が極端に小さい、あるいは大きい、また雑音が入ったりしないように収録してください。 ・映像と音声は同時に収録してください。映像と音声が一致していない場合や、映像や音声を加工したと判断した場合は、失格となる可能性があります。 ・審査時に動画を閲覧できない場合は、失格となる可能性があります。 <その他注意事項> ・動画の作成方法に関する問い合わせには一切応じません。

■各専攻（コース）別音楽活動記録書記載要領

【重要】氏名欄及び記載事項の最終ページ「以上、記載事項に相違はありません。」の欄に、志願者が自筆で署名してください。

専攻（コース）		記 載 要 領
作曲	作 曲	・作曲、和声、対位法、楽典、ソルフェージュ、楽器及び声楽等の学習歴について、使用した教科書、進度、課題実施の程度等を、師事した場合には、先生の氏名も含めて学習の概要が判るように記載してください。 ・作曲作品について、タイトルと編成、演奏された場合には、演奏者名、演奏会場等を記載してください。 ・音楽及び芸術関連の課外活動、コンピュータ音楽制作、演奏活動、受賞歴、出版、放送、留学経験、その他（音楽以外も含む）の特記事項がある場合にも積極的に記載してください。なお、複数メンバーによる活動の場合には、自身が担当した事項も記載してください。
	音楽学	・音楽歴（演奏、創作等）とこれまでの音楽とのかかわりを詳細に記載してください。その他、外国語の学習歴、能力として特記事項（帰国子女等）があれば記載してください。英検（実用英語技能検定）、TOEIC テスト、仏検（実用フランス語技能検定試験）、独検（ドイツ語技能検定試験）等の外国語の能力を示す公的証明書を所持している場合、そのコピーを添付してください。
声 楽		・これまでに師事した声楽の先生の氏名を記載してください。 ・学習した主な曲目を記載してください。 ・受賞歴、演奏活動、部活動、またその他の特記事項がある場合には詳細に記載してください。
器楽	弦楽器	・受験する楽器においてこれまでに師事した先生の氏名を記載してください。 ・今まで学習したエチュード、協奏曲、その他の楽曲も記載してください。 ・受賞歴、留学経験、放送、特筆に値すると思われる演奏会等があれば、記載してください。（受験する楽器以外の事柄でも記載して構いません。）
	管打楽器	・これまでに師事した先生の氏名を記載してください。 ・学習した教則本、エチュード、楽曲を詳細に記載してください。 ・受賞歴、資格、演奏活動、部活動等、特記事項がある場合には詳細に記載してください。

記載事項の記入例

学習

- ・和声「和声 理論と実習」第一巻を習得。（三ヶ峯太郎先生の下、全課題を実習）
- ・ピアノをヤマカワ音楽教室（グループレッスン）にて習う。令和〇年まで
- ・作曲を三ヶ峯太郎先生に師事。令和〇年まで
- ・ヴァイオリンを長久手次郎先生に師事。令和〇年まで
- ・県立長岩高等学校音楽科（器楽）に入学。
- ・「24 のカプリース」（N. Paganini）を学習。
- ・日本ミュージック・サマースクールに参加。Longrock 氏の公開レッスンを受講。「シャコンヌ」（G. B. Vitali）

作品・演奏

- ・「〇△〇△〇」を作曲、演奏：長久手三郎、場所：長岩市民会館小ホール
- ・△△△△△作曲の「〇〇〇〇〇」を弦楽四重奏に編曲
- ・長岩市ピアノ発表会にて「ピアノソナタ第 11 番」（W. A. Mozart）第一楽章を演奏
- ・県立長岩高等学校音楽科発表会にて、イタリア歌曲 3 曲（編曲：三ヶ峯太郎）を演奏
- ・「ヴァイオリン協奏曲第 3 番」（W. A. Mozart）を演奏、管弦楽：長岩市民管弦楽団、指揮：長久手次郎、場所：長岩市民会館

受賞、出版、放送

- ・ピアノ作品作曲コンクール入賞、ピアノのための「ABC」
- ・吹奏楽のための「いろは」が CD に収録される。（SOVI: 12345）
- ・東海三県中学生ヴァイオリン・コンクール入賞。「調和の幻想第 3 番」（A. L. Vivaldi）第一楽章
- ・中部高校生音楽コンクール第 1 位「ヴァイオリン協奏曲第 3 番」（W. A. Mozart）
- ・長岩 FM の「〇〇クラシック」に出演、「アヴェ・マリア」（F. P. Schubert）を演奏

その他

- ・私立長岩中学入学。音楽部に入部して合唱の伴奏を行なう。
- ・長岩中学音楽部が合唱コンクールにて金賞を受賞。（伴奏者として出演）
- ・県立長岩高等学校吹奏楽部にて Horn を担当、木管五重奏でアンサンブル・コンクール（東海大会）に出演し金賞を受賞。
- ・県立長岩高等学校生徒会長を務める。
- ・英語検定 2 級取得。

Ⅲ インターネット出願サイトからダウンロードして試験当日持参するもの

書類	作成方法
受験票	令和 8 年 11 月 13 日(金)以降に出願時に登録したアドレスへメールで通知します。通知が到着後、インターネット出願サイトから「受験票」をダウンロードのうえ、必ず各自が印刷（A4判）し、切取り線に沿って切り取ってください。また、書類選考合格者は本選考当日に受験票を持参してください。 ※受験票のダウンロードに関するメールが令和 8 年 11 月 16 日(月)までに届かない場合は、入試課まで問い合わせてください。 ※受験票は、入学手続の際に必要なため、試験終了後も大切に保管してください。

(6) 入学検定料 17,000 円

入学検定料の支払いは、インターネット出願サイトにおける出願内容の登録後に行います。42 ページに記載するいずれかの手順で支払手続に進んでください。

支払期限は、出願登録日を含め 4 日以内です。（出願締切日までの期間が 4 日より短い場合は、出願締切日が優先されます。）支払期限内に入金がない場合、出願登録は自動的にキャンセルとなるため、注意してください。

※支払手数料等は、各自ご負担ください。

※願書受理後は、既納の検定料は返還いたしません。

4 出願・受験上の諸注意

- (1) 出願書類に不備、記載もれがあるときは受理しません。
- (2) 記入ミスをしたときは、誤記した文字を二重線で抹消してください。（訂正印は不要）
- (3) 本学での試験当日、本学受験票を必ず持参してください。なお、受験票を忘れた者は、試験場に入れないこともありますので注意してください。
- (4) 出願後、連絡先を変更したいときは、速やかに入試課まで書面（連絡先住所にフリガナをつけてください。）にて届け出てください。
- (5) 出願に際しての照会は、入試課まで電話でお問い合わせください。
- (6) 入学試験における提出物や作品は、本学の入試資料として本学発行の冊子やウェブサイトに掲載する場合があります。
- (7) 入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し治癒していない場合又は罹患した疑いがある場合は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮頂いた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。体調管理については十分に注意してください。
- (8) 本選考は、対面で実施します。海外から来日し受験を検討している方は、日本へ入国・滞在できるか否かについて、出願前に必ずご自身で確認してください。入国できない場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。
- (9) 本選考の集合時刻・場所等は以下の日時に発表します。本選考受験者は必ずご確認ください。

日 時：令和 8 年 11 月 19 日（木）午前 11 時から

場 所：本学管理棟に掲示及び本学ウェブサイト「入試情報」に掲載

本学ウェブサイト「入試情報」（<https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>）



5 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について

障がい等を有する本学入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、事前に入試課(0561-76-2603)に問い合わせの上、出願前に申請書等を提出してください。

- (1) 申請の時期
令和8年9月7日(月)必着
- (2) 申請の方法
申請書に医師の診断書(障害者手帳を有する者はその写しを添付)、担当教員等の所見書(高等学校等での学習状況・生活状況を記載)を添えて入試課まで書面で提出してください。
申請書には、次の事項を記載してください。(任意様式。参考例を本学ウェブサイト「入試情報」に掲載しています。)
①志望学部・専攻 ②障がいの種類・程度 ③受験上の特別な配慮を希望する事項
④修学上の特別な配慮を希望する事項 ⑤その他参考となる事項

申請後、必要な場合は、本学において志願者との面談等を行います。

6 問い合わせ先

- インターネット出願システムの操作方法・入学検定料支払方法に関する問い合わせ
株式会社キャリアタス「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター
電話 0120-202-079
メールでの問い合わせについては、<https://e-apply.jp/e/support/>よりお問い合わせください。
- 入試に関する問い合わせ
愛知県立芸術大学 入試課
電話 0561-76-2603(直通)
メールアドレス admission_pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp
(照会時間は午前9時から午後5時まで。ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。)

7 選 抜 方 法

(1) 各専攻（コース）別選抜方法

書類選考（作曲専攻（音楽学）及び器楽専攻（弦楽器）を除く。）

専攻（コース）		選 抜 方 法
作曲	作 曲	提出書類(音楽活動記録書、志願理由書、調査書)及び提出作品 3 曲による審査を行なう。
声 楽		提出書類(音楽活動記録書、自己アピール文、調査書)による審査を行なう。
器楽	管打楽器	提出書類(音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書)及び録画物による審査を行なう。

本選考

専攻（コース）		選 抜 方 法
作曲	作 曲	実技試験、口述試験による審査を行なう。 ・ 1 日目（実技試験、口述試験） 器楽曲作曲 3 時間（ピアノ使用可） 与えられたモチーフを使用し器楽曲を作曲する 口述試験 提出した 3 作品と器楽曲作曲作品の解説を中心とした口述試験（面接も含む）
	音楽学	提出書類(音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書、小論文)及び筆記試験、口述試験、音楽の基礎的能力試験※による審査を行なう。 ・ 1 日目（筆記試験、口述試験） 音楽学の基礎的能力試験(英語力を試す出題を含む) 2 時間 口述試験 提出した小論文に関する口述試験 ・ 2 日目（音楽の基礎的能力試験） ピアノ、ソルフェージュ、楽典
声 楽 ※		実技試験、面接試験、音楽の基礎的能力試験※による審査を行なう。 ・ 1 日目（実技試験、面接試験） 自由曲（演奏時間 6 分程度、複数曲可） 面接試験 ・ 2 日目（音楽の基礎的能力試験） ピアノ (注) 面接試験について、出願者数によっては試験の一部を 2 日目に実施する場合があります。
器楽 ※	弦楽器	提出書類(音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書)及び実技試験、面接試験、初見視奏、音楽の基礎的能力試験※による審査を行なう。 ・ 1 日目（実技試験、面接試験、初見視奏） 課題曲 自由曲 面接試験 初見視奏（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロのみ） ・ 2 日目（音楽の基礎的能力試験） ピアノ、ソルフェージュ、楽典 (注) 初見視奏は面接試験の冒頭で実施します。
	管打楽器	実技試験及び面接試験、音楽の基礎的能力試験※による審査を行なう。 ・ 1 日目（実技試験、面接試験） 課題曲 面接試験 ・ 2 日目（音楽の基礎的能力試験） ピアノ、ソルフェージュ、楽典

※音楽の基礎的能力試験及び声楽専攻、器楽専攻実技試験の課題曲については、21 ページから 29 ページの【実技試験及び音楽の基礎的能力試験 試験内容及び課題曲】を参照してください。

(2) 評価基準

書類選考（作曲専攻（音楽学）及び器楽専攻（弦楽器）を除く。）

専攻（コース）		試験科目	評価基準
作曲	作曲	書類による審査（提出作品を含む）	・作曲の基礎能力や資質、創造力、探究心、発想力等をみる。 ・基礎的な学力をみる。
声楽		書類による審査	・声楽を研究する意欲をみる。 ・基礎的な学力をみる。
器楽	管打楽器	書類による審査（録画物による審査を含む）	・管打楽器を研究する意欲、基礎的な学力をみる。 ・演奏能力をみる。

本選考

専攻（コース）		試験科目	評 価 基 準
作 曲	作 曲	器楽曲作曲	・作曲理論の基礎能力、構成力、発想力等をみる。
		口述試験（提出作品に関する口述を含む）	・人物の志向性や作曲を研究する意欲と基礎的能力をみる。
	音 楽 学	音楽学の基礎的能力試験（英語力を試す出題を含む）	・音楽学の学習に必要な基礎的能力をみる。
		口述試験（小論文、提出書類の内容についての質疑を含む）	・音楽学の学習に必要な基礎的能力や、資質をみる。 ・基礎的な学力をみる。
		音楽の基礎的能力試験	・音楽の基礎的能力(ピアノ、ソルフェージュ、楽典)をみる。
声 楽		自由曲及び面接試験（提出書類の内容についての質疑を含む）	・声楽家としての資質、表現力、基礎的能力をみる。
		音楽の基礎的能力試験	・音楽の基礎的能力(ピアノ)をみる。
器 楽	弦 楽 器	課題曲、自由曲及び初見視奏	・演奏家としての資質、技術、表現力をみる。
		面接試験（提出書類の内容についての質疑を含む）	・弦楽器を研究する意欲をみる。 ・基礎的な学力をみる。
		音楽の基礎的能力試験	・音楽の基礎的能力(ピアノ、ソルフェージュ、楽典)をみる。
	管打楽器	課題曲及び面接試験（提出書類の内容についての質疑を含む）	・演奏に際しての表現力、創造力、技術力、基礎的能力をみる。
		音楽の基礎的能力試験	・音楽の基礎的能力(ピアノ、ソルフェージュ、楽典)をみる。

(3) 点数配分

書類選考（作曲専攻（音楽学）及び器楽専攻（弦楽器）を除く。）

専攻（コース）		試験科目	配点
作曲	作曲	書類による審査	100
音楽		書類による審査	
器楽	管打楽器	書類による審査	

本選考

専攻（コース）		試 験 科 目	配 点
作 曲	作 曲	器楽曲作曲	400
		口述試験	600
	合計		1,000
	音 楽 学	音楽学の基礎的能力試験	300
口述試験		500	
音楽の基礎的能力試験		200	
		合計	1,000
声 楽		自由曲	800
		面接試験	100
		音楽の基礎的能力試験	100
		合計	1,000
器 楽	弦 楽 器	課題曲及び自由曲	600
		面接試験及び初見視奏	200
		音楽の基礎的能力試験	200
	合計		1,000
	管打楽器	課題曲	700
		面接試験	100
音楽の基礎的能力試験		200	
		合計	1,000

8 試験日程及び合格発表

書類選考合格者発表（作曲専攻（音楽学）及び器楽専攻（弦楽器）を除く。）

年月日及び時間	場 所	備 考
令和8年11月19日（木） 午前11時	本学管理棟及びウェブサイト に掲示します。（注1）	合格者には、「書類選考合格通知書」を、 不合格者には、「書類選考不合格通知書」 を本人あてに送付します。

本選考

専 攻 (コース) 年月日	作 曲		声 楽	器 楽	
	作 曲	音 楽 学		弦 楽 器	管打楽器
令和8年 11月28日 (土)	9:30～12:30 器楽曲作曲 13:30～ 口述試験	9:30～11:30 音楽学の 基礎的能力試験 13:00～ 口述試験	10:00～ 自由曲 面接試験 (注2)	9:30～ 課題曲 自由曲 面接試験 初見視奏（注3）	9:30～ 課題曲 面接試験
令和8年 11月29日 (日)		9:30～ 音楽の 基礎的能力試験 (ピアノ、ソルフ ェージュ、楽典)	9:30～ 音楽の 基礎的能力 試験 (ピアノ)	9:30～ 音楽の 基礎的能力試験 (ピアノ、ソルフ ェージュ、楽典)	9:30～ 音楽の 基礎的能力試験 (ピアノ、ソルフ ェージュ、楽典)

※12 ページ「4 出願・受験上の諸注意」を必ずご確認ください。

（注2）声楽専攻の面接試験について、出願者数によっては試験の一部を2日目に実施する場合があります。

（注3）弦楽器コース（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロのみ）の初見視奏は面接試験の冒頭に行います。

最終合格者発表

年月日及び時間	場 所	備 考
令和8年12月7日（月） 午前11時	本学管理棟及びウェブサイト に掲示します。（注1）	合格者には、入学許可通知書及び入学手 続ガイドを送付します。 推薦学校長には、合否結果を通知します。

（注1）電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。本学ウェブサイトにて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが本学から送付する通知書及び学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

本学ウェブサイト「入試情報」 <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>



9 学校推薦型選抜・総合型選抜に不合格になった者の一般選抜への再出願について

学校推薦型選抜・総合型選抜に不合格になった者で、大学入学共通テストを受験した者は、本学又は他の国公立大学の一般選抜を受験することができます。

10 入学手続

合格者は、本学所定の振込依頼書により入学料及び保険料を支払った上で、所定の入学手続書類及び入学料/保険料納付証明書を期日までに郵送してください。

なお、期日までに入学手続きを完了しない場合は、入学許可を取り消します。

(1) 期間

令和8年12月14日（月）から18日（金）まで（締切日消印有効）

※提出書類を「簡易書留速達郵便」により郵送してください。

※ただし、日本国外から郵送する場合は締切日午後5時必着とします。

(2) 入学料及び保険料

286,660 円

(内訳) 入学料 282,000 円

学生教育研究災害傷害保険・付帯賠償保険 保険料 4,660 円（4 年間分）

ア 入学料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。なお、入学料及び保険料は、改定されることがあります。

イ 納付された入学料は返還しません。

(3) 入学料及び保険料振込にあたってのお願い

ア 入学料の納入は、**金融機関の窓口**で行ってください。ゆうちょ銀行及び ATM からは送金しないでください。

イ 振込依頼書の「ご依頼人」欄は合格者本人の氏名で行ってください。

(4) 入学手続の諸注意

ア 入学手続を期日までに完了しない場合は、入学許可を取り消します。

イ その他入学手続の詳細については、合格者に別途通知します。

ウ 日本国籍以外の方は、上記の他、在留カードの写し（両面）を入学手続日までに提出してください。

エ 学校型推薦選抜・総合型選抜合格者で入学手続きを完了した者は、他の国公立大学の一般選抜に出願し、受験しても合格者にはなりません。

オ 入学手を完了した者であっても出願資格において「見込み」で受験し、入学に必要な要件を令和9年3月31日までに満たせない場合は、入学許可を取り消します。

11 授 業 料

年額 535,800 円 (前期・後期各 267,900 円。前期分は 4 月、後期分は 10 月に徴収します。)

授業料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。なお、授業料は改定されることがあります。

12 入学検定料、入学料、授業料の免除・還付制度について

(1) 入学検定料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学検定料の全部が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問い合わせてください。

ア 生活保護法による被保護家庭の子弟である者

イ 入学試験前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けた(※1)ことにより、入学検定料の納付が極めて困難になった者

ウ 入学試験前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養（※2）、会社の倒産・解雇等による失業（※3）又は事業の倒産により、入学検定料の納付が極めて困難になった者

※1: 市町村長等から「災害に係る住家の被害認定基準運用指針」に基づく「全壊」、「大規模半壊」及び「半壊」のいずれの認定を受けたことをいう。

※2：長期（6か月以上をいう）に入院する必要が生じたことをいう。

※3：会社の倒産・解雇等による失職のことをいう。定年や自己都合による退職はこれに含まない。

問い合わせ期限	令和8年10月7日(水)
---------	--------------

(2) 入学料の還付

高等教育の修学支援新制度において、支援の対象者となっている学生へ入学後、支援区分に応じて入学料の一部若しくは全額を還付します。※入学料は必ず全額納付してください。

(3) 授業料の免除

○日本人学生

高等教育の修学支援新制度において、支援の対象者となっている学生へ、支援区分に応じて授業料の一部若しくは全部について免除します。

○外国人留学生

外国人留学生対象の授業料免除制度が設けられています。詳細は、入学後に本学ポータルサイトをご確認ください。

※内容については、今後変更する可能性があります。

問い合わせ先

学務部学務課 メールアドレス g-shien@mail.aichi-fam-u.ac.jp

13 入試結果の閲覧

愛知県個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、口頭により受験者本人が自己の入試結果の閲覧を求めることができます。

- | | |
|---------------------|---|
| (1) 閲 覧 で き る 範 囲 | ・専攻別実技試験のランク (A, B, C, D, E の 5 ランクで開示します)
・科目別得点 (専攻別実技試験を除く) |
| (2) 閲 覧 で き る 期 間 | 令和 8 年 12 月 7 日 (月) 合格発表時刻から令和 9 年 1 月 6 日 (水) 午前 9 時から午前 11 時 30 分まで及び、午後 0 時 30 分から午後 5 時まで。ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除く。 |
| (3) 閲 覧 の 受 付 窓 口 | 本学管理棟 3 階 芸大総務課
受験者本人が、口頭で芸大総務課に申し出てください。 |
| (4) 閲 覧 の 方 法 | 本人部分のみ閲覧 |
| (5) 閲 覧 に 必 要 な 書 類 | ①受験票
②本人確認書類 (運転免許証、マイナンバーカードその他官公署の発行する証明書等のうちいずれか) |
| (6) そ の 他 | 電話、E-mail 等による成績の問い合わせには応じません。 |
| (7) 閲覧に関する問い合わせ先 | 芸大総務課 電話 0561-76-2408 (直通) |

入試結果の情報提供

受験者本人の申し出に限り、郵送による成績の情報提供を行います。
申込方法及び申請書など、詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。
なお、提供する情報は上記の「(1) 閲覧できる範囲」と同じ内容です。

14 個人情報の取扱いについて

個人情報については、個人情報保護に関連する法令に基づき適切に管理します。

(1) 利用目的について

出願にあたって提出された氏名・住所等の個人情報は、入学者選抜並びに必要な応じ入学後の学籍管理、学習指導及び学生支援関係業務において利用します。

なお、国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、氏名・受験番号・可否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学への情報提供に使用します。

(2) 第三者への個人情報の提供

取得した個人情報を本人の同意なく第三者に提供することはありません。
ただし、個人情報の保護に関する法令の定めるところにより、提供すべき義務を負う場合には本人の同意を得ることなく個人情報を提供することがあります。

15 安全保障輸出管理について

愛知県立芸術大学では「外国為替及び外国貿易法」に基づき、国際的な平和及び安全の維持に寄与することを目的として「愛知県立芸術大学安全保障輸出管理規程」を制定し、適切に対応します。外国人留学生等の受け入れに際して実施する事前確認の結果により、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますのでご注意ください。

■実技試験及び音楽の基礎的能力試験 試験内容及び課題曲

1. 実技試験課題曲

I. 声楽専攻

演奏時間 6 分程度の自由曲（任意の曲）

- (1) 演奏曲目は複数になっても構いませんが、演奏時間の合計が 6 分程度になるようにしてください。5 分未満の場合は失格になることがあります。
- (2) 暗譜で演奏してください。
- (3) アリアは原則として、原調、原語で演奏してください。
- (4) 演奏部分を当日指定することがあります。
- (5) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- (6) 伴奏者は本学で用意します。

II. 器楽専攻（弦楽器コース）

器楽専攻弦楽器コース 共通事項

- (1) 繰り返しなしで暗譜にて演奏してください。
- (2) 課題曲・自由曲ともに、伴奏なしで演奏してください。
- (3) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- (4) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの課題曲(b)については番号を、ヴィオラの課題曲(c)については曲名を、自由曲については作曲者名と曲名を、弦楽器提出用紙に**欧文**で記入してください。

○ヴァイオリン

(1) 課題曲

(a) Carl Flesch: Scale System より E-dur

No. 5 全部、No. 6 (1～4 小節)、No. 7 (1～4 小節)、No. 8 (1～4 小節)

No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。重音のスラーは 4 分音符単位とします。

(b) N. Paganini: 24 Capricci Op. 1 より任意の 1 曲。

(2) 自由曲

古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲の第 1 楽章。カデンツァを含みます。

■面接試験の冒頭で実施する初見視奏の過去問題（令和 8 年度出題）は以下のとおりです。
なお、試験の前に 5 分程度の予見時間があります。予見時間中は楽器を弾いて構いません。

Violin

Thema

Andante



○ヴィオラ

(1) 課題曲

(a) Carl Flesch: Scale System より任意の調

No. 5 全部 リズムとスラーは、C-dur に準じます。

(b) B. Campagnoli: 41 Caprices Op. 22 より任意の 1 曲

(c) J. S. Bach: 6 Suiten für Violoncello solo より BWV1007～1009 の任意の楽章。

(2) 自由曲

古典派の任意の協奏曲の第 1 楽章。カデンツァを含みます。

■面接試験の冒頭で実施する初見視奏の問題例は以下のとおりです。なお、試験の前に 5 分程度の予見時間があります。予見時間中は楽器を弾いて構いません。

Viola

Andante poco Allegretto



○チェロ

(1) 課題曲

(a) J. Loeb: Gammes et arpèges より D-dur

4 オクターブの音階、4 オクターブの分散 3 度を 4 つずつのスラーで。

4 オクターブのアルペッジョを 3 つずつのスラーで。

2 オクターブの 3 度重音、2 オクターブの 6 度重音を 2 つずつスラーで。

(b) J. L. Duport: The 21 Famous Exercises (Etudes) より任意の 1 曲

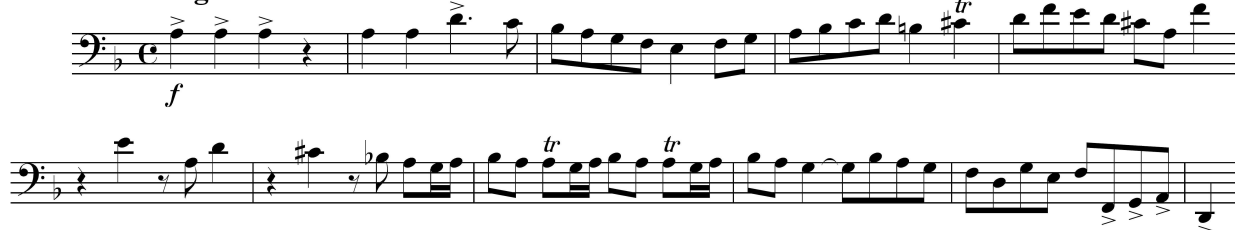
(2) 自由曲

古典派以降の任意のチェロ協奏曲の第 1 楽章。カデンツァを含みます。

■面接試験の冒頭で実施する初見視奏の問題例は以下のとおりです。なお、試験の前に 5 分程度の予見時間があります。予見時間中は楽器を弾いて構いません。

Violoncello

Allegro



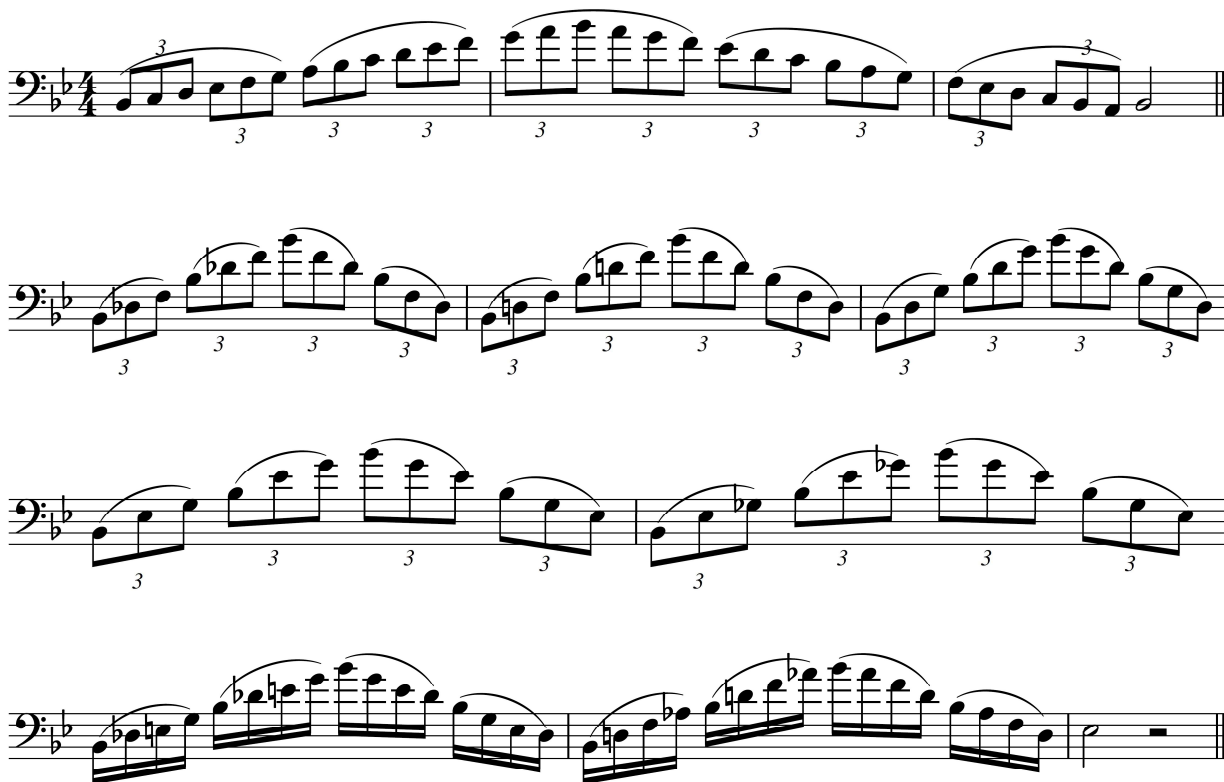
○コントラバス

弦楽器提出用紙のコントラバス受験者記載欄に、楽器借用希望の有無及び実技試験時のコントラバス椅子使用希望の有無に○を付けてください。

(1) 課題曲 (a)、(b) 共にオーケストラチューニングで演奏してください。

(a) 音階 譜例参照

譜例



(b) J. Hrabě: 86 Etüden より Nr. 17

(2) 任意の自由曲

○ハープ

ハープの受験者は、本学で用意した楽器で演奏してください。楽器の持込は不可。

(1) 課題曲

(a) E. Larivière: Exercices et Études Op. 9 より No. 36 (1ère Étude)

(b) G. F. Handel: Harp Concerto in B flat major Op. 4 No. 6 HWV294 より
第1楽章 (Grandjany 版)

(2) 任意の自由曲 (5分程度)

Ⅲ. 器楽専攻（管打楽器コース）

器楽専攻管打楽器コース 共通事項

- (1) 伴奏者は本学で用意します。演奏の直前に伴奏者と 30 秒程度の打ち合わせができます。
- (2) 試験当日、時間の都合により各楽器の課題 (1) から (3) のいずれかをカットする場合があります。また、各曲の演奏を途中でカットする場合があります。

○フルート

- (1) A. B. Fürstenau: 24 Studies (Bouquet des Tons) Op. 125 より
No. 11,13 から当日指定します。
- (2) W. A. Mozart: Concerto in G major K. 313 より第 1 楽章
カデンツァなし。演奏範囲は、当日指定します。
- (3) G. Fauré: Fantaisie Op. 79 より Andantino
(1)、(2)、(3)いずれも版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

○オーボエ

下記より当日指定します。

- (1) W. Ferling: 48 Etudes Op. 31 より No. 1～18
G. Ph. Telemann: Twelve Fantasias for Flute without Bass TWV40: 2-13 より No. 2
- (2) W. A. Mozart: Oboe Concerto in C K. 314 より第 1 楽章（カデンツァ無し）
(1)、(2)いずれも版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

○クラリネット

- (1) E. Cavallini: 30 Capricci per Clarinetto (Ricordi 版) より
No. 19, 22 から当日指定します。繰り返しなしで演奏してください。
- (2) E. Bozza: Fantaisie Italienne pour Clarinette et Piano (Leduc 版)
(1)、(2)いずれも暗譜の必要はありません。

○ファゴット

- (1) J. Weissenborn: Bassoon Studies for Advanced Pupils Op. 8 vol. 2 より
No. 20, 21, 23, 29 の中から 2 曲を当日指定します。
- (2) G. Ph. Telemann: Sonata in F minor TWV41: f1 第 1、第 2 楽章
繰り返しなしで演奏してください。
(1)、(2)いずれも版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

○サクソフォーン

(1) 音階

譜例の形の音階を各調（♭は6つ、♯は5つまで）より当日指定します。

テンポは4分音符＝ca. 100 とし、アーティキュレーションは、当日指定します。

譜例



(2) W. Ferling: 48 Etudes より、下記の連続する番号の2曲を1組とし、そのいずれか1組を当日指定します。版の指定はしません。

No. 3・4、No. 11・12、No. 17・18、No. 25・26、No. 29・30、No. 33・34、No. 41・42

(3) 下記の選択課題曲3曲より1曲を選択し、演奏してください。また、選択した曲は番号及び曲名を提出用紙に記入してください。

① Roger Boutry: Divertiment pour Saxophone Alto et Orchestre a Cordes ou Piano (Leduc 版)
より第1楽章

② Jules Demersseman: Fantaisie sur un thème original (使用版は自由)

③ A. Glazounov: Concerto en Mi ♭ Op. 109 (Leduc 版) より冒頭から練習番号16まで

(1) 音階は暗譜で演奏してください。(2)、(3)は暗譜の必要はありません。

○ホルン

(1) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。

(2) W. A. Mozart: Konzert für Horn Nr. 4 K. 495 (Bärenreiter 版) より

第1楽章 カデンツァなし

暗譜の必要はありません。

○トランペット

(1) 音階 J. B. Arban: Complete Grand Method (ISM Collection 全音楽譜出版社)

65～81 ページの4、19、25、31、38、42、43、44、47、53、59、65、70～81の中より当日指定します。暗譜の必要はありません。

(2) 下記の選択課題曲2曲より1曲を選択し、演奏してください。また、選択した曲は番号及び曲名を提出用紙に記入してください。暗譜の必要はありません。

① T. Charlier: Solo de Concours (Schott 版)

② E. Bozza: Rustiques (Leduc 版)

○トロンボーン

- (1) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。
2 オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。
- (2) 下記の選択課題曲 5 曲より 1 曲を選択し、演奏してください。また、選択した曲は番号及び曲名を提出用紙に記入してください。演奏を途中でカットする場合があります。暗譜の必要はありません。
 - ① F. David: Concertino in Eb Op. 4 (Zimmermann 版) より第 1 楽章、第 2 楽章
 - ② E. Sachse: Concertino in Bb (International Music Company 版)
 - ③ A. Guilmant: Morceau Symphonique Op. 88 (Schott 版または Kalmus 版)
 - ④ E. Bozza: Ballade Op. 62 (Leduc 版)
 - ⑤ E. Ewazen: Sonata for Trombone & Piano (Southern Music 版) より第 1 楽章

○バストロンボーン

- (1) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。
2 オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。
- (2) 下記の選択課題曲 5 曲より 1 曲を選択し、演奏してください。また、選択した曲は番号及び曲名を提出用紙に記入してください。演奏を途中でカットする場合があります。暗譜の必要はありません。
 - ① F. David: Concerto (Concertino) in Bb for Bass Trombone (Zimmermann 版)
より第 1 楽章、第 2 楽章
 - ② E. Sachse: Concerto (Concertino) in F for Bass Trombone (Zimmermann 版)
 - ③ Alexey Lebedev: Concerto No. 1 (Hofmeister 版)
 - ④ E. Bozza: New Orleans (Leduc 版)
 - ⑤ G. Ph. Telemann: Sonata in F minor TWV41: f1 (International Music Company 版)

○ユーフォニアム

- (1) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。
2 オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。
- (2) J. Demersseman: Grande fantaisie sur Don Juan de W. A. Mozart (Billaudot 版)
繰り返しなしで演奏してください。暗譜の必要はありません。

○チューバ

- C 管か Bb 管を使用してください。
- (1) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。
2 オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。
 - (2) Alexey Lebedev: Concerto No. 1 for Tuba and Orchestra (Hofmeister 版)
暗譜の必要はありません。

○パーカッション

下記の課題Aまたは課題Bのどちらかを選択し、演奏してください。

- (1) ティンパニは「ドイツ並び」(奏者から見て右が低音、左が高音となる配置)で演奏してください。(右下図参照)
- (2) スネアドラム及びスタンドは各自持参したものを、ティンパニ及びマリンバは本学の楽器を使用してください。
- (3) 演奏を途中でカットする場合があります。
- (4) 全ての楽譜は各自が用意してください。全て暗譜の必要はありません。
- (5) 選択した課題のアルファベットを提出用紙に記入してください。

■課題A

スネアドラム

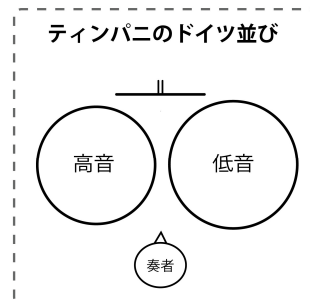
- (1) All-American Drummer (Ludwig Masters 版) より No.1, 11
両曲とも繰り返しなしで演奏してください。
- (2) 網代景介/岡田知之：小太鼓 100 曲集 (共同音楽出版社) より 37

ティンパニ

- (1) Heinrich Knauer: 85 Übungen für Pauken (Hofmeister 版) より
Übungen mit Wirbel No. 7 (Andante 4/4 in C u. G)
♩=70 程度で演奏してください。

マリンバ

- (1) Morris Goldenberg: Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone
Musical Interpretations and Editing by Anthony J. Cirone (Alfred 版) より
39 ETUDES I (G Dur)



■課題B

スネアドラム

- (1) All-American Drummer (Ludwig Masters 版) より No.7, 19
両曲とも繰り返しなしで演奏してください。
- (2) Heinrich Knauer: Kleine Trommel Schule (Hofmeister 版) より 25 番

ティンパニ

- (1) Heinrich Knauer: Paukenstudien aus der Paukenschule, Band 2 (Hofmeister 版) より
58 (Andantino 4/4 in C u. G)
♩=70 程度で演奏してください。

マリンバ

- (1) Morris Goldenberg: Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone
Musical Interpretations and Editing by Anthony J. Cirone (Alfred 版) より
39 ETUDES V (E Dur)
繰り返しなしで演奏してください。

○マリンバ

スネアドラム及びスタンドは各自持参したものを、マリンバは本学の楽器を使用してください。演奏を途中でカットする場合があります。

スネアドラム

(1) [楽譜④] を演奏してください。暗譜の必要はありません。

マリンバ

(1) C. O. Musser: Etude Op. 11 No. 4

2マレットで演奏してください。

(2) C. O. Musser: Etude Op. 6 No. 8

(1)、(2)いずれも暗譜で演奏してください。また、版の指定はしません。

A

[illegible]

2. 音楽の基礎的能力試験

・ピアノ

作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コースの志願者に課します。

音階：Hanon No. 39 より、

- ① C-Dur と a-moll
- ② G-Dur と e-moll
- ③ D-Dur と h-moll
- ④ A-Dur と fis-moll
- ⑤ F-Dur と d-moll
- ⑥ B-Dur と g-moll
- ⑦ Es-Dur と c-moll

上記①～⑦の中から当日指定します。暗譜で演奏してください。

(注) 長調の音階は繰り返しなし。短調の音階は和声的短音階を1回弾いた後、続けて旋律的短音階を1回弾き、終止形をつけて終わる。

・ソルフェージュ

作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コースの志願者に課します。

新曲視唱

歌詞を伴わない初見視唱1題

聴音

単旋律課題1題

4声体和声課題1題（器楽専攻弦楽器コースのみ）

・楽典

作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コースの志願者に課します。

所要時間は40分程度。

音楽の学習に必要な基礎知識一般

※過去の試験問題を本学ウェブサイト「入試情報」に掲載しています。

<https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/information/06.html>

■令和8年度学校推薦型選抜・総合型選抜 試験実施状況

専攻（コース）		募集人員	志願者数	受験者数	1次合格者数	最終合格者数	入学者数
作曲	作曲	若干名	7	7	7	2	2
	音楽学	若干名	2	2	—	0	0
声楽		4名	25	25	25	6	6
器楽	弦楽器	3名	7	7	—	4	4
	管打楽器	5名	44	44	44	6	6
計		—	85	85	76	18	18

■令和 10 年度入試変更点の予告

令和 10 年度入試からの変更点を予告します。今年度入試ではありませんのでご注意ください。

1. 令和 10 (2028) 年度入学者選抜より、音楽学部作曲専攻音楽学コースにおいて学校推薦型選抜を廃止し、総合型選抜を実施します。

1 趣旨

作曲専攻音楽学コースでは、音楽を学問的に捉える意欲・基礎的能力にすぐれた人材を、さまざまなバックグラウンドを持った人々の中から発掘することを目的とし、従来実施してきた学校推薦型選抜に代えて、より出願資格の幅を広げた総合型選抜を実施します。

2 アドミッションポリシー

求める人物像

- ・音楽に対する知的好奇心を持っている人
- ・音楽を研究する上で必要な基礎的能力を備えている人
- ・芸術に対する豊かな感受性を持っている人

入学前に身につけていてほしいこと

- ・基礎的な文章の読解力
- ・基礎的な文章の表現力
- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュや楽典等）
- ・基礎的な学力（外国語や一般教科）

入学者選抜試験の基本方針

【総合型選抜】

- ・音楽学の基礎的能力試験（論述、外国語）、音楽の基礎的能力試験、口述試験の結果及び提出書類（音楽活動記録、調査書他）を総合して可否を判定します。

3 募集人員

若干名

4 出願資格

次の(1)と(2)の両方に該当する者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 10 年 3 月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 10 年 3 月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 10 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 10 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 10 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者(昭和 23 年文部省告示第 47 号)
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)による高等学校卒業程度認定試験

に合格した者(同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和10年3月31日までに合格見込みの者で、令和10年3月31日までに18歳に達するもの

- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和10年3月31日までに18歳に達するもの

※ 出願資格⑧により出願しようとする者は、募集要項に記載の期限までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。

- (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者

5 出願書類

- (1) 志願理由書(本学所定様式に記載)
(2) 音楽活動記録書(本学所定様式に記載)
(3) 調査書

指導要録の保存期間経過により調査書が作成できないときは、次の①②を提出してください。

- ① 卒業証明書、②成績証明書または単位修得証明書等(発行できない場合は、出身学校長からの「発行できない旨の文書」を提出してください。)

6 選抜方法及び点数配分

(1) 選抜方法

提出書類及び筆記試験、口述試験、音楽の基礎的能力試験による審査を行います。

1日目

筆記試験：音楽学の基礎的能力試験(論述、外国語) 2時間

口述試験：筆記試験の回答および提出した書類に関する口述試験

2日目

音楽の基礎的能力試験：ピアノ、楽典

(2) 点数配分

本選考			
音楽学の 基礎的能力試験	口述試験	音楽の 基礎的能力試験	計
600点	200点	200点	1,000点

※本学ウェブサイトにて令和8年2月27日付公表の内容と同じです。

※その他詳細は、『令和10年度音楽学部総合型選抜 学生募集要項』にて公表します(令和9年7月下旬公表予定)。

※今後生じる令和10年度入試変更については、本学ウェブサイト「入試情報」の「お知らせ」にて公表しますので、必ずご確認ください。

2. 令和 10（2028）年度入学者選抜より、音楽学部声楽専攻における 募集人員を変更します。

令和 10（2028）年度入学者選抜<2027 年度実施>より、音楽学部声楽専攻における入試種別ごとの募集人員を下記のとおり変更します。

（変更前）

学部 学科	専攻 コース	入学定員	募集人員	
			一般選抜	総合型選抜
音楽学部 音楽科	声楽専攻	30 名	26 名	4 名



（変更後）

学部 学科	専攻 コース	入学定員	募集人員	
			一般選抜	総合型選抜
音楽学部 音楽科	声楽専攻	30 名	<u>25 名</u>	<u>5 名</u>

※本学ウェブサイトにて令和 8 年 7 月 17 日付公表の内容と同じです。

※その他詳細は、『令和 10 年度音楽学部総合型選抜 学生募集要項』にて公表します（令和 9 年 7 月下旬公表予定）。

※今後生じる令和 10 年度入試変更については、本学ウェブサイト「入試情報」の「お知らせ」にて公表しますので、必ずご確認ください。

3. 令和 10（2028）年度入学者選抜より、音楽学部器楽専攻ピアノコースにおいて新たに総合型選抜を実施します。

1 趣旨

器楽専攻ピアノコースでは従来の一般選抜に加えて、より専門分野の能力と個性を重視した総合型選抜を実施します。これにより、音楽家としての高い可能性を秘めた人材を幅広く受け入れることを目指します。

2 アドミッションポリシー

求める人物像

- ・実力を伸ばすために努力できる人
- ・音楽への興味を持ち、ピアノ演奏を通して音楽芸術全般に積極的に関与したい人
- ・可能な限り多様なレパートリーを修得することに意欲のある人
- ・アンサンブルなど共同での演奏にも関心がある人

入学前に身につけてほしいこと

- ・基礎的な演奏技術と表現能力
- ・様々なジャンル、編成の音楽に親しむ姿勢
- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュや楽典等）
- ・基礎的な学力（外国語や一般教科）

入学者選抜試験の基本方針

【総合型選抜】

- ・書類審査（音楽活動記録、調査書他）及び録画による演奏審査の後、専攻実技試験、面接試験、音楽の基礎的能力試験を行い、それらの結果を総合して可否を判定します。
- ・専攻実技試験では、受験者一人一人の独奏を複数の審査員が「資質」、「技術」、「表現力」の視点から採点し、その集計結果により評価を決定します。

3 募集人員

4名

4 出願資格

次の(1)と(2)の両方に該当する者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 10 年 3 月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 10 年 3 月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 10 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 10 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 10 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者(昭和 23 年文部省告示第 47 号)
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同令附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和 26 年文部省令第 13 号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和 10 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 10 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認め

た者で、令和10年3月31日までに18歳に達するもの

※ 出願資格⑧により出願しようとする者は、募集要項に記載の期限までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。

- (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者

5 出願書類

- (1) 志願理由書（本学所定様式に記載）
(2) 音楽活動記録書（本学所定様式に記載）
(3) 調査書

指導要録の保存期間経過により調査書が作成できないときは、次の①②を提出してください。

- ①卒業証明書、②成績証明書または単位修得証明書等（発行できない場合は、出身学校長からの「発行できない旨の文書」を提出してください。）
(4) 演奏曲目提出用紙（本学所定様式に記載）
(5) 演奏動画

6 選抜方法及び点数配分

2段階選抜を行います。

(1) 書類選考

提出書類（志願理由書、音楽活動記録書、調査書）及び演奏動画による審査を行います。

(2) 本選考

専攻実技試験、面接試験、音楽の基礎的能力試験による審査を行います。

1日目

専攻実技試験：課題曲

面接試験

2日目

音楽の基礎的能力試験：楽典

（ただし、出願者数によっては、面接試験の一部を2日目に実施する場合があります。）

(3) 点数配分

書類選考		本選考			
書類による審査 (演奏動画による審査を含む)	計	専攻実技試験	面接試験	音楽の 基礎的能力試験	計
100点	100点	800点	100点	100点	1,000点

※本学ウェブサイトにて令和8年2月27日付公表の内容と同じです。

※その他詳細は、『令和10年度音楽学部総合型選抜 学生募集要項』にて公表します（令和9年7月下旬公表予定）。

※今後生じる令和10年度入試変更については、本学ウェブサイト「入試情報」の「お知らせ」にて公表しますので、必ずご確認ください。

4. 令和 10（2028）年度入学者選抜より、音楽学部器楽専攻弦楽器コースにおいて学校推薦型選抜を廃止し、総合型選抜を実施します。

1 趣旨

弦楽器コースでは、従来実施してきた学校推薦型選抜に代えて、より出願資格の幅を広げた総合型選抜を実施します。音楽家としての資質と技術を兼ね揃えた、将来弦楽器の演奏および教育の分野で、社会に幅広く貢献できる人材を募集することを、目的としています。

2 アドミッションポリシー

求める人物像

- ・演奏家としての資質と技術を備えている人
- ・将来音楽界、芸術教育界を担うべく意欲旺盛な人
- ・より高い技術やより深い音楽性を食欲に求める人
- ・アンサンブルなど共同での演奏に関心のある人
- ・自然を愛し、豊かな感受性、想像力を備えている人

入学前に身につけてほしいこと

○専門実技能力

- ・音に対する感性を大切にする姿勢
- ・感じたことを表現しようとする姿勢
- ・音階・練習曲等、基礎技術

○音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）

○基礎的な学力、語学力

入学者選抜試験の基本方針

【総合型選抜】

- ・専攻実技試験、音楽の基礎的能力試験、面接試験の結果及び提出書類（音楽活動記録、調査書他）を総合して可否を判定します。

3 募集人員

5名

4 出願資格

次の(1)と(2)の両方に該当する者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 10 年 3 月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 10 年 3 月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 10 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 10 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 10 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者(昭和 23 年文部省告示第 47 号)
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同令附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和 26 年文部省令第 13 号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和 10 年 3 月 31 日までに合格見込みの

- 者で、令和 10 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認め
た者で、令和 10 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- ※ 出願資格⑧により出願しようとする者は、募集要項に記載の期限までに入試課に申し出て、
その指示を受けてください。
- (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必
ず入学することを確約できる者

5 出願書類

- (1) 志願理由書（本学所定様式に記載）
- (2) 音楽活動記録書（本学所定様式に記載）
- (3) 調査書

指導要録の保存期間経過により調査書が作成できないときは、次の①②を提出してください。

- ①卒業証明書、②成績証明書または単位修得証明書等（発行できない場合は、出身学校長からの「発
行できない旨の文書」を提出してください。）
- (4) 演奏曲目提出用紙（本学所定様式に記載）

6 選抜方法及び点数配分

(1) 選抜方法

提出書類及び専攻実技試験、面接試験、音楽の基礎的能力試験による審査を行います。

1 日目

専攻実技試験：課題曲、自由曲及び初見視奏

（初見視奏は楽器の種類に関わらず全員実施します。）

面接試験

2 日目

音楽の基礎的能力試験：ソルフェージュ、ピアノ、楽典

(2) 点数配分

本選考			
専攻実技試験	面接試験	音楽の 基礎的能力試験	計
800点	100点	200点	1,100点

7 初見視奏の問題例

専攻実技試験の初見視奏について、難易度、曲の長さの目安として、コントラバス、ハープの問題例を公
表しますので参考にしてください。なお、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの問題例については、本紙 21、
22 ページ「試験内容及び課題曲 II. 器楽専攻（弦楽器コース）」を参照してください。

※試験の前に 5 分程度の予見時間があります。

【問題例】

コントラバス



ハーブ



※本学ウェブサイトにて令和8年2月27日及び令和8年7月17日付公表の内容と同じです。

※その他詳細は、『令和10年度音楽学部総合型選抜 学生募集要項』にて公表します（令和9年7月下旬公表予定）。

※今後生じる令和10年度入試変更については、本学ウェブサイト「入試情報」の「お知らせ」にて公表しますので、必ずご確認ください。

5. 令和 10（2028）年度入学者選抜より、音楽学部器楽専攻 管打楽器コースにおいて学校推薦型選抜を廃止し、総合型 選抜を実施します。

1 趣旨

管打楽器コースでは、演奏を通じて社会に貢献できる多彩な人材を募るため、従来の学校推薦型選抜を刷新し、出願資格を大幅に広げた総合型選抜を導入します。多様なバックグラウンドを持つ受験者の個性を発掘し、次世代の演奏家として育成することを目指しています。

2 アドミッションポリシー

求める人物像

- ・豊かな感受性、想像力、表現意欲を備えている人
- ・人との関わりや思いやりを大切にし、協調性、適応能力に優れた人
- ・アンサンブルなど共同での演奏に関心のある人
- ・物事への積極性があり、愛知県の文化・自然・芸術に関心を持ち、国際的な視野を持っている人

入学前に身につけてほしいこと

- ・主要オーケストラ作品、室内楽など様々な作品に興味を持ち、知識を広げておく
- ・積極的に演奏表現をしようとする姿勢
- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- ・基礎的な学力、語学力

入学者選抜試験の基本方針

【総合型選抜】

- ・書類審査（音楽活動記録、調査書他）及び録画による演奏審査の後、専攻実技試験、面接試験、音楽の基礎的能力試験を行い、それらの結果を総合して合否を判定します。

3 募集人員

5名

4 出願資格

次の(1)と(2)の両方に該当する者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 10 年 3 月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 10 年 3 月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 10 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 10 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 10 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和 10 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 10 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和10年3月31日までに18歳に達するもの

※ 出願資格⑧により出願しようとする者は、募集要項に記載の期限までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。

- (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者

5 出願書類

(1) 1000字程度の自己アピール文（様式自由）

(2) 音楽活動記録書（本学所定様式に記載）

(3) 調査書

指導要録の保存期間経過により調査書が作成できないときは、次の①②を提出してください。

①卒業証明書、②成績証明書または単位修得証明書等（発行できない場合は、出身学校長からの「発行できない旨の文書」を提出してください。）

(4) 演奏曲目提出用紙（本学所定様式に記載）

(5) 課題曲演奏動画

6 選抜方法及び点数配分

2段階選考を行います。

(1) 書類選考

提出書類（自己アピール文、音楽活動記録書、調査書）及び演奏動画による審査を行います。

(2) 本選考

専攻実技試験、面接試験、音楽の基礎的能力試験による審査を行います。

1日目

専攻実技試験：課題曲

面接試験

2日目

音楽の基礎的能力試験：ソルフェージュ、ピアノ、楽典

（ただし、出願者数によっては、面接試験の一部を2日目に実施する場合があります。）

(3) 点数配分

書類選考		本選考			
書類による審査 (演奏動画による審査を含む)	計	専攻実技試験	面接試験	音楽の 基礎的能力試験	計
100点	100点	800点	100点	100点	1,000点

※本学ウェブサイトにて令和8年2月27日付公表の内容と同じです。

※その他詳細は、『令和10年度音楽学部総合型選抜 学生募集要項』にて公表します（令和9年7月下旬公表予定）。

※今後生じる令和10年度入試変更については、本学ウェブサイト「入試情報」の「お知らせ」にて公表しますので、必ずご確認ください。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、証明写真(顔写真)データなど
詳細は学生募集要項参照



STEP

2



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/aichi-fam-u/>

または、
大学ウェブサイト ▶ <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>
からアクセス



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。

個人情報入力に関する注意

- 「電話番号」と「緊急時連絡先」は異なる番号を入力してください。
- 住所は確実に連絡を受けられる住所を入力してください。



⑨登録完了となります。
「マイページへ」をクリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、「出願手続きを行う」ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので「ログアウト」ボタンをクリックしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
「出願手続きを行う」ボタン
から登録画面へ



②入試区分を選択



③志望学部等の選択



④証明写真(顔写真)データの
アップロード
「写真選択へ」ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力
※管打楽器コース受験者は演奏動画
URLを必ず入力してください。



⑥出願内容の確認



⑦申込登録完了
「引き続き支払う」ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード

個人情報入力に関する注意

- 「電話番号」と「緊急時連絡先」は異なる番号を入力してください。
- 住所は確実に連絡を受けられる住所を入力してください。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、 ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

収納機関番号
(5桁)

5:8:0:2:1 ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

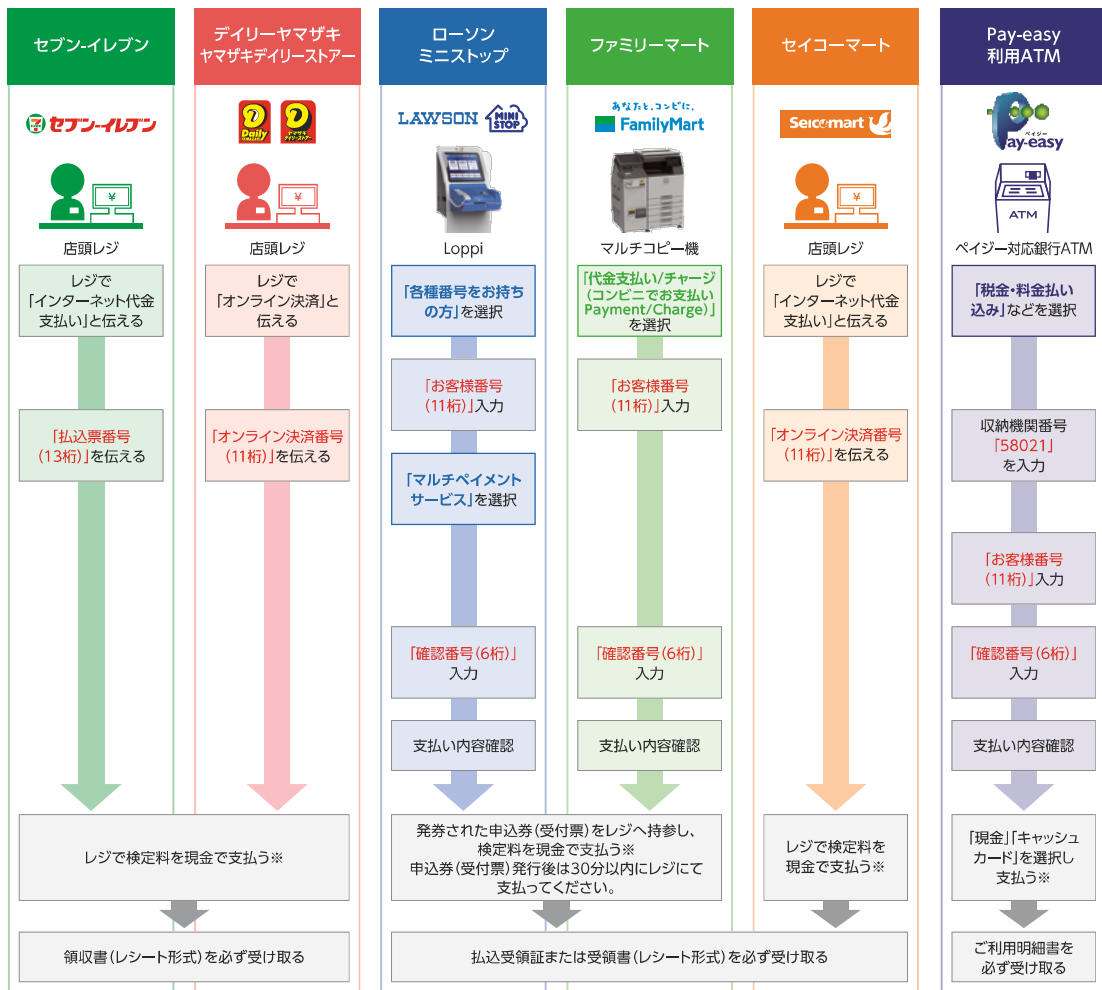
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6

必要書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

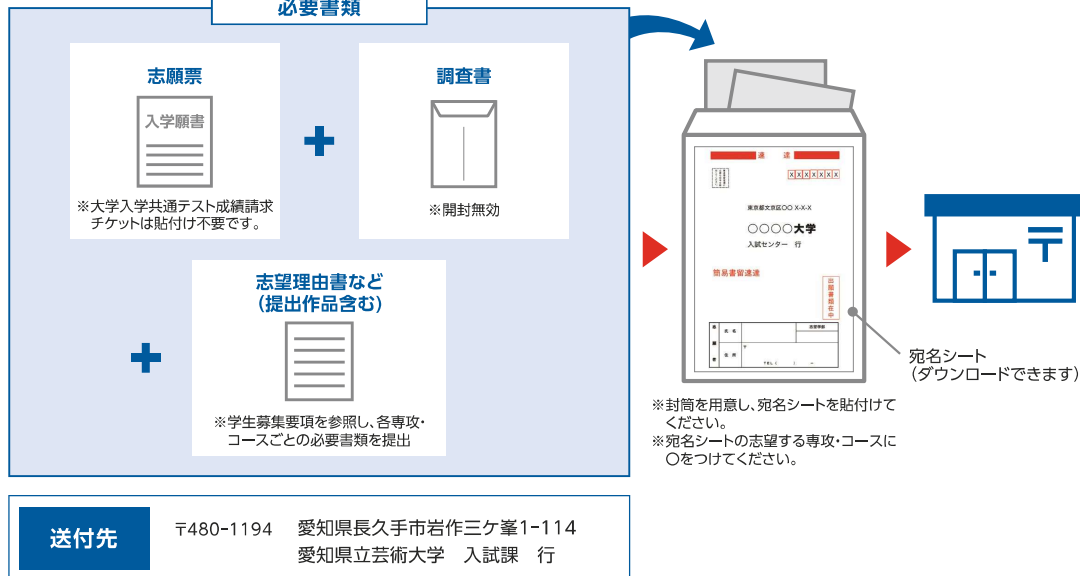
出願登録、入学検定料の支払後に志願票をダウンロードのうえ印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。※出願締切日消印有効。

「志願票」の印刷方法



- (1) マイページに表示された「志願票(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「志願票(印刷)」のボタンがクリックできるようになり志願票等の出力ができます。

必要書類



〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんのでご注意ください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日23時59分まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願締切日消印有効です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票の印刷

本学で出願を確認後、**11月13日(金)以降**一斉に受験票を配信します。インターネット出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。



【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に印刷し、切り取り線に沿って切り取ってください。

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試課

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114

TEL 0561-76-2603 (入試課直通)

MAIL admission_pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp

愛知県立芸術大学ウェブサイト URL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>

